

しせききっかわしじょうかんあと
史跡吉川氏城館跡

おぐら やま じょう あと
小倉山城跡

(広島県山県郡北広島町新庄)



おぐらやまじょう さっかわおきつね ひやま
小倉山城は15世紀頃に築かれ、1546年に吉川興経によって日の山城に移されるまで100年以上にわたり吉川氏の本拠城とされた山城です。城は本丸・二の丸・三の丸・御座所と呼ばれる建物などがあつた平坦地(郭)や、堀切・土塁などの防御施設によって構成されています。

見つかった陶磁器



たち
太刀の金具



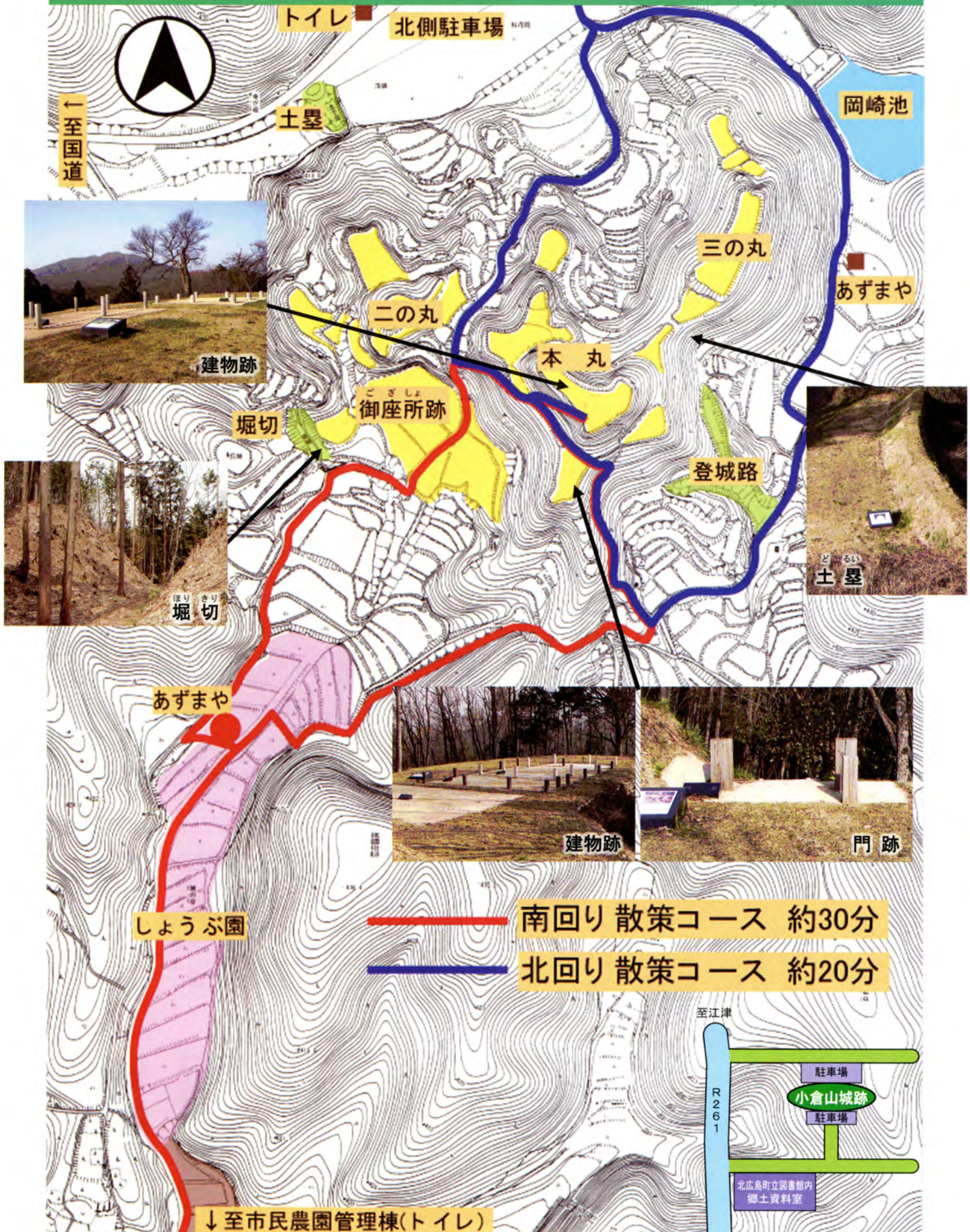
せっぱ
切羽



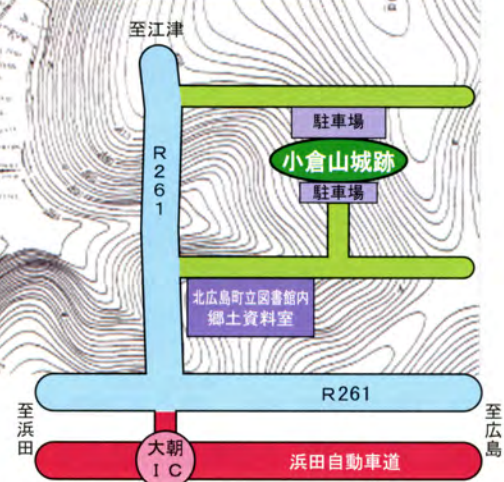
こざね
小札

本丸の発掘調査では、掘立柱建物や礎石建物跡、堀切、登城路などが見つかりました。また、備前焼、瀬戸・美濃焼、明(中国)や朝鮮から輸入された陶磁器などの食器類のほか、たち太刀の金具、せっぱ切羽(刀の一部)やこざね(鎧の一部)などの武器・武具類が出土しています。

小倉山城跡散策案内と主な遺構



南回り散策コース 約30分
 北回り散策コース 約20分



↓至市民農園管理棟(トイレ)

■お問い合わせ先
 北広島町教育委員会 生涯学習課 文化係
 TEL 0826-72-0864